

No.	質問	回答
	全体	
1	本機能はあくまでも「機関担当者が」検索し、研究者に伺いを立てるものであるという認識でよろしいでしょうか。	はい、その通りです。
2	この機能を使用するのにJAIRO Cloud利用料に加えて費用が必要でしょうか？	試運用期間を含め当面は費用の負担は生じない予定です。
3	OAアシスト機能はJAIRO Cloudに自動的についてくるベーシック機能ではなく、別途申込でしょうか？	はい、別途申込いただくことになります。
	文献データベース	
4	文献データベースとの連携について、対象のデータベースは何でしょうか。	LensとJ-STAGEです。
5	CrossrefやOpenAlexではなく、Lensを情報源にしているのはなぜですか（単なる興味です）	採録範囲が広く、また、多くの機関へサービスを提供するための許可が得られたからです。
6	Lensは日本語文献はどれくらい入っているのでしょうか（J-STAGEで救える？） Lensも基本DOIがついているものが対象でしたか	Lensは日本語論文をあまり採録していないので、J-STAGEで捕捉します。DOIは基本的についています。
7	LensとJSTAGEとの連携により、自機関の何割程度の論文を把握することが可能となる見込みでしょうか？	7、8割程度と見積もっています。
8	Lens.orgのAPI を使用されていると思いますが、個々の機関でAPIキーを取得する必要がありますでしょうか。	不要です。データが自動取得される形でアカウントを引き渡します。
9	J-STAGEの頻度も同じでしょうか。	Lensに合わせて、隔週で更新分を取得します。
	著者所属情報	
10	著者の所属の情報は何を参照しているのでしょうか？ 筆頭著者以外も自機関の著者であることは特定可能？	LensやJ-STAGEの情報を参照しています。いずれかの著者が所属研究者のアイテムが通知され、詳細ページから各著者の所属を確認できます。
	著者絞り込み	
11	First Authorでなく、corresponding authorで絞りたい場合もあるかと思いますが、可能でしょうか？	corresponding authorのシステム的な特定が困難なこともあり、筆頭著者としています。
12	図書館から依頼するのはcorresponding authorでfirst authorとは必ずしも一致しないのではないかと思います。	corresponding authorのシステム的な特定が困難なこともあり、筆頭著者としています。
13	論文一覧の画面で、筆頭著者の列があったかと思いますが、そもそも論文情報として一覧に挙がってくるのは著者の中に1名でも本学所属である場合になりますでしょうか。その中で、さらに筆頭著者が本学所属の場合に、筆頭著者の欄にVが入るイメージでしょうか。	はい、その通りです。
14	WEKO3にデータを送るときに著者DBと連携したり、著者の表記をYamada Tarou→YAMADA, Tarou など変換できると便利かと思います。	マッピングの編集機能は有用だと思われませんが、マッピングエラー等の懸念から慎重になっているのが現状です。
	コンテンツの重複調査	
15	リストアップされた論文が、既に自機関のリポジトリに入っているかどうかは、自分で調べる感じでしょうか？	既にOAの論文はフラグから判断でき、どこでOAになっているのかは詳細ページから確認できます。
	ユーザ・インターフェイス	
16	機関ごとにアイテムタイプ設定が異なっているかと思いますが、「WEKOに送信」ボタンを押した後の挙動としては、どのような画面に移行するので	まだ開発途中なのですが、マッピングエラー等の懸念から、固定的なものになる可能性が高いです。
17	大学がずらっと並んでいるグラフで、棒グラフの背が低くて見づらそうでしたが調整できますか？ 全体を数値でダウンロードなどできますか？	縦軸を可変にした場合、フィルターをかけた際に数が増えたような絵になってしまうことから、固定にしたいと考えています。確かに見えにくいので、数値ダウンロードをできるようにしたいと思います。
18	選択するフィルターを変えたときに、縦軸の上限値を変えられるとより見やすくなりそうです。	縦軸を可変にした場合、フィルターをかけた際に数が増えたような絵になってしまうことから、固定にしたいと考えています。確かに見えにくいので、数値ダウンロードをできるようにしたいと思います。
19	日本語画面で表示される「言語」ラベルは「Language」であるべきだと思います。	ご指摘ありがとうございます。
20	途中から参加したので、最初のところで説明があったかもしれませんが、最後に出てきた大学ごとのランキングは科研費のランキングでしょうか？	OA論文数のランキングです。ただし、フィルターにより、OA助成論文数のランキングに切り替えることもできます。
	SCPJ	
21	SCPJのポリシー情報の更新もJPCOARで管理して下さるのでしょうか？ 最新のポリシーになっていると安心です。	システムに取り込んだものに関してはシステム側で管理します。
22	日本語論文（J-stage）のほうのポリシーの確認のリンクにはどのようなものが表示される予定でしょうか。	SCPJ採録のリンクが表示される予定です。
	ファイル受け渡し	
23	部分的に、聞きそびれたので教えてください。論文ファイル受け渡し機能は存在するでしょうか。	メタデータ流用入力後のページへ研究者自身が論文をアップロードするためのリンクを生成することはできます。
24	ファイルのやり取りはNII FileSenderを使うとかたちの運用はありうるでしょうか。	大型ファイルをメールに添付できない問題への対策を考えたいと思います。
	セルフ・アーカイブ	
25	研究者が入力したメタデータ内容を、WEKO3の個別登録画面へ自動反映するような機能は、今のところは考慮されていないということでしょうか。	はい、JCの既存機能やGRDMの新機能が対応しています。
	システム連携	
26	JAIRO Cloud以外とも連携可能とのことでしたが、現状で、不可のソフトウェアなどはあるのでしょうか。	リポジトリ側の改修により、基本的には連携可能になると思います。
27	JAIRO Cloud以外のシステムで改修してもWEKOに送信ボタンのようにはできずダウンロードボタンでのファイル出力しかないでしょうか？	はい。ただし、リポジトリ側の改修により対応できるようになります。
28	改修するとWEKOに送信ボタンで連携可能になるかもしれないということでしょうか？	はい、その通りです。
29	CiNii Research や KAKENとの連携の予定はありますか？ 科研費報告書に載っているのにオープンになっていない論文を通知してくれるなど。	それらとは連携する予定ですが、論文捕捉のためというよりは、助成フラグの精度向上にまず取り組みたいと思っています。
30	JAIRO Cloud以外のリポジトリシステムとの連携について具体的にイメージをご教示ください。	メタデータの流用入力ができるようになります。
	論文取得日	
31	論文一覧の画面に「取得日」がありますが「発行日」の方がありがたいです。	新着データの発行日が必ずしも新しいわけではないため、発行日と並べた場合、新着データなのに後ろの方に並べられてしまうことがあります。
32	データの「取得日」はどのようなタイミングで行われるのでしょうか。	隔週で更新分を取得します。
33	発行日が古い論文だと既に退職されている研究者が増えてくるので、比較的新しい論文から着手していくかと思いますが、発行日での絞込は可	フィルターはついていませんが、全データではなく、2020年以降のデータをお渡しする予定です。
	メール送信	
34	研究者に送信するメール本文に、論文情報をOpenURL（GETのパラメータ）で記載することはできないでしょうか。OpenURLのリンクをクリックすることで、自機関で用意したフォームに論文情報を表示させたいと考えています。	メールの送付は機関に依存していることから、そうした設定を自由に施していただければと思います。
35	執筆者との連絡は大学側のメールを使うとのことですが、大学側システムと連携できるapiのようなものは検討されているでしょうか。	API設けることでメーラーからの自動送信が可能になるようであれば、検討したいと思います。
36	本学ではMS365を契約しているため、OAアシスト側からデータを流してもらって、ファイル送信などは研究者とのやり取りをできないかと考えまし	API設けることでメーラーからの自動送信が可能になるようであれば、検討したいと思います。

37	OAアシスト機能自体のWebAPIはありますか。JC以外のリポジトリでも使えるようにするということなので、あるという理解で正しいでしょうか。あれば、ORCID番号と自組織の職員情報を突き合わせて、メール送信まで自動化できそうです。	Web APIは開発予定です。メール自動送信は実現したい機能の一つですので、ご指摘いただいた方法を含め、メールアドレス把握の方法を検討したいと思います。
試運用		
38	こちら利用したい場合には、河合先生に直接ご連絡すればよろしいのでしょうか？	はい、当面は河合に連絡いただけますと幸いです。
39	試運用の結果、各機関の意見を踏まえて調整を行って本番提供されていくかと思っておりますので、試運用に参加できた機関さんにいろいろと意見を出してもらえればと思います。	はい、是非ご参加のほどよろしくお願い致します。
40	試運用は何機関くらいの募集を想定していますか	10～20機関になると想定しています。
その他		
41	今後、どのようなスケジュールでどのようにこのサービスをリリースしていくのかをNIIとJPCOARと相談させていただけるとよいと思いました。	はい、その予定です。